

紀州徳川家シンポジウム

紀州徳川家とその時代

令和2年

2/22



受講料無料

※手話通訳あり(別途申込不要)

明治大学駿河台キャンパス

アカデミーコモン3階 アカデミーホール

【開場】12:30 【開講】13:00

第1部 演奏「読売日本交響楽団によるアンサンブル」
紀州徳川家ゆかりの南葵音楽文庫関連曲

第2部 基調講演 井沢 元彦
第3部 パネルディスカッション

【パネリスト】 井沢 元彦、徳川 宣子、山下 茂、仁坂 吉伸
【コーディネーター】 清岡 央
<司会進行> 須磨 佳津江



井沢 元彦
歴史作家



徳川 宣子
建築家
紀州徳川家第19代当主



山下 茂
明治大学名誉教授、博士(政治学)



仁坂 吉伸
和歌山県知事



清岡 央
読売新聞東京本社文化記者



須磨 佳津江
フリーアナウンサー

▶申込方法

事前予約制(全席自由、先着1,000名)

*電話または下記ホームページからお申込みください。

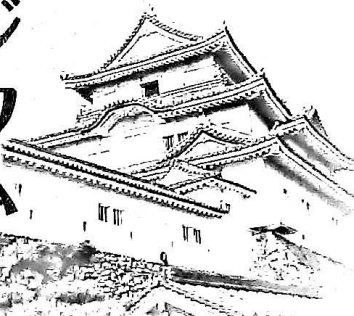
明治大学リバティアカデミー事務局 URL <https://academy.meiji.jp/>
TEL 03-3296-4423

*電話申込受付時間 <平日>10:30~19:00 <土曜>10:30~15:30

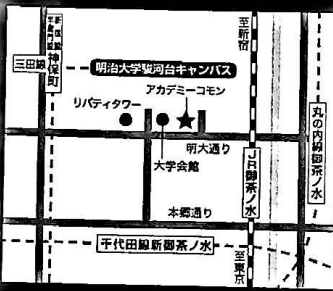
紀州徳川家シンポジウム

紀州徳川家とその時代

2019年は、初代紀州藩主となる徳川頼宣(徳川家康10男)が、紀州55万5千石に転封して400年の節目の年にあたります。紀州徳川家は、御三家の中でも征夷大将軍を輩出した唯一の藩であり、八代将軍吉宗は、徳川幕府中興の祖と呼ばれ、十四代将軍家茂(いえもち)は、国内が尊王攘夷に揺れる難局で将軍職を務めました。2人の将軍以外にも、世界史にも希有な270年に亘る泰平と、独特の日本文化を創造した江戸時代において、紀州徳川家の存在は際立っています。また、第16代当主の徳川頼貞が集めた「南楽音楽文庫」は、わが国の西洋音楽の黎明期の様子が凝縮された優れたコレクションとして、現在和歌山県で保存・研究されています。この記念すべき年に、紀州徳川家が果たした役割を振り返るとともに、今日から見た紀州徳川家の功績を顕彰します。



和歌山城
(公益社団法人和歌山県観光連盟 提供)



- 明治大学駿河台キャンパスへのアクセス
- JR「御茶ノ水」駅 徒歩3分
- 丸の内線「御茶ノ水」駅 徒歩3分
- 千代田線「新御茶ノ水」駅 徒歩5分
- 新宿線・半蔵門線・三田線「神保町」駅 徒歩5分

- 第1部 演奏「読売日本交響楽団によるアンサンブル」
紀州徳川家ゆかりの南楽音楽文庫関連曲
- 第2部 高岡清 井沢 元彦
- 第3部 パネルディスカッション
パネリスト) 井沢 元彦、徳川 宣子、山下 茂、仁坂 吉伸
コーディネーター) 清岡 央
<司会進行> 須磨 佳津江



いざわ もとひこ
井沢 元彦
歴史作家

1954年愛知県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、TBSに入社。報道局(政治部)記者時代の1980年に『丸丸』テレビで第26回江戸川乱歩賞を受賞、31歳で作家。以後執筆に専念。2012年、中津社立読本会の本部長に就任した他、大正大学、種彦院大学で現職も専任教授を務める。著書に『逆説の日本史』『逆説の世界史』『旧友神劇』小學校、『実録の日本史』角川書店、『井沢元彦の学校で教えてくれた、日本史の授業』PHPなど多数。全国での公演活動の他、テレビ、ラジオにも随時出演中。



とくがわ ことこ
徳川 宣子
建築家、紀州徳川家第19代当主

東京都生まれ。紀州徳川家第18代当主徳川剛の長女。東京英和女学院短期大学を卒業後、文化学院で建築を学び、大成建設株式会社入社。1985年、石橋利彦と共に株式会社石橋徳川建築設計所を設立。1988年、東京建築士会評議員、1992年、東京YMCAデザイン研究所講師。建築関係で多数の表彰歴がある。東京建築士事務所協会中央支部副支部長、日本建築家協会関東甲信越支部幹事。著書に『建築家のワークス』(相関のディテール)(石橋利彦との共著)がある。



やました しげる
山下 茂
明治大学名誉教授・博士(政治学)

1971年東京大学卒、自治省入省。日本国政府派遣で英国留学しケンブリッジ大学大学院で修士(地方自治専攻)ノーレンガム大学地方自治研究所(INLOGOV)名誉研究フェローとなる。自治省では大臣官房次長を歴任。地方団体では広島県を振り出しに長野県議長、岡山県議長、広島県財政局長、栃木県総務部長、和歌山県副知事などを歴任。旧、県、市、町レベルで様々な行政経験を経た後、(財)自治体国際化協会(CLAIR)パリ事務局長を経て、2004年より明治大学公共政策(専門職)大学院がバチナス研究科教授。2019年3月定年退職。



にさか よしのぶ
仁坂 吉伸
和歌山県知事

1950年和歌山県生まれ。東京大学経済学部卒業後、通商産業省入省。生活産業局総務課長、経済企画庁官房官房企画課長、大臣官房審議官(通商政策担当)、製造産業局長次長を歴任後、2003年からブルネイ国大使、社団法人日本貿易協会専務理事を経て、2006年から和歌山県知事。



きよおか わさし
清岡 央
読売新聞東京本社文化部長記者

1976年生まれ。特奈川県出身。1999年に一橋大学卒業、読売新聞東京本社入社。情報支局などを経て、2007年に文化部に大坂本社出向の期間も含めて8年余り、歴史・文化財・世界遺産を中心に取材した。2018年からクラシック音楽を主に担当している。

読売日本交響楽団

1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体にて設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ね、日本を代表するオーケストラとして活発なコンサート活動を行っている。2017年11月にはメシンの献曲(アッジの聖フランチェスコ)(全曲日本初演)が好評を博し、『自美の友』誌の「コンサート・ベスト2017」で第1位となった。



すま かつえ
須磨 佳津江
フリーアナウンサー

東京女子大学卒業後、アナウンサーとしてNHKに入社。ニュースキャスターを勤めた後、結婚を機にフリーランスとなり、以降もNHKを中心に活躍。現在NHKラジオ深夜便アンカー等、番組出演のほか、シンポジウムコーディネーター、インタビュー、講演、ナレーション、司会など多方面で活躍中。

司会進行